

科目番号	52	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英文科目名	Topics in Economics II Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	三好 秀和 (経済 学部 招聘教員)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	事務局内会議室	会場	環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局		
授業期間	2024年8月26日(月)～2024年8月30日(金) <夏集中講義Ⅰ> 時限・講時 10 : 40 ~ 16 : 10				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局は日本生命大津ビル4階(JR大津駅から徒歩1分)。				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】					
<p>今年から授業方法と内容を変更する。講義形式で行うが確実に身に付けてもらうため单元ごとに演習問題を解いてもらい自己採点をおこなってもらう。質問は都度受け付け、受講生の共有財産とする。</p> <p>内容は証券アナリスト一次試験の基礎となる内容であるが基礎的な知識や陥りやすい疑問を含めて解説するので本格的にアナリストを目指す学生には特に有意義である。</p> <p>さらに本講義の内容は金融リテラシー向上のために有意義である。企業では社内教育や福利厚生の一環として金融教育を人事総務部が行っている。それは退職金として確定拠出年金制度が導入され自己責任のもと従業員がしているからだ。このような個人のリテラシーに有用であるというだけではなく、上場会社ではM&Aが最大の投資となっていることから本講義の知識が実はM&Aの基礎となるため、アナリストを目指す学生だけではなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や一般事業法人の経営企画部門、IR部門の担当者を目指す学生にとっても有用である。</p> <p>就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がここでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学び次世代を担う人材となり有意義な人生をおくってほしい。</p>					
【受講生の到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。 2.企業の行動原理を理解することができる。 3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。 					
【成績評価方法】					
<p>日常的な授業における取組状況の評価45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。)とレポート課題55%で決定する。レポートは授業中に開示する。</p>					
【授業外学習の指示】					
<p>復習に重点を置いて学習してもらいたい。授業は現代投資理論の基づいた世界標準の内容である。授業で内容の理解度の確認のためQAを設定している。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。</p>					
【受講および研究に関するアドバイス】					
<p>積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくと視野を広げる意味でもよい。</p>					
【参考になるwwwページ】					
<p>日本証券アナリスト協会のWEBにはアナリスト講座の申込みだけではなく、企業のIRセミナーを学生に公開している。学生会員として登録すれば経営者を身近に感じる事が可能となる。</p> <p>http://www.saa.or.jp/</p>					

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月26日	(1)株式の意義 バランスシート上の株式、上場することの意義、経営者にとって株主の存在とは何か、株式の法的な意義とは何か、株価はどうすれば上昇するか、株価はどのように決定するか。 (2)株式市場と株価の決定理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR。 (3)株価の決定理論と周辺知識 金利と将来価値、単利と複利、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価。
2	8月27日	(4)債券とは何か 債権と債券、バランスシート上の債券の意義、債券の仕組み、種類、発行体、期間と格付。 (5)債券の理論価格 債券の利回りと価格の関係、債券の理論価格、イールドカーブ、残存期間の短長とクーポンの大小の価格への影響。 (6)債券投資分析 マコーレーのデュレーション、修正デュレーション、コンベクシティの意味。 (7)デリバティブとは デリバティブとは、評価の基本、先渡し取引と先物取引の仕組み、裁定取引。
3	8月28日	(8)オプション取引 オプション取引の仕組み、制度と種類、コールとプットのそれぞれの損益曲線、本源的な価値と時間価値。 (9)デリバティブの投資戦略 ヘッジ、リスクテイキング、アービトラージ。 (10)現代ポートフォリオ理論1 証券投資のリスクとリターン、効用関数、リスクに対する態度、平均分散アプローチによる効用関数。
4	8月29日	(11)現代ポートフォリオ理論2 複数資産による分散効果、効率的フロンティアの特徴、資産最適化、安全性資産を含むポートフォリオと分離定理。 (12)現代ポートフォリオ理論3 資本資産評価モデルと市場ポートフォリオ、市場ポートフォリオの有用性、資本市場線、証券市場線。 (13)資産運用の実践1 投資政策とポートフォリオマネジメントのプロセス、ポリシーアセットミックス、資産クラスの期待リターンとリスク、リバランス。
5	9月30日	(14)資産運用の実践2 機関投資家の運用方法、年金運用と資産運用、ESG投資とステュワードシップコード。 (15)資産運用の実践3 個人投資家の資産運用、リスク許容度、ライフサイクル、リスク測定の考え方、ベンチマーク。

<教科書・参考書>

【参考書】

『新版ファンドマネジメント大全』三好秀和編著(同友館 9784496055874)

【参考書(備考)】

多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。高額なため図書館で貸し出しを受けるのがよい。

【備考】

ハーバードでは「今あなたは眠って夢を見ることができる。しかし、眠らずに今勉強すれば近い将来、夢を実際に見ることができる」と学生たちの間で話題となっている。24時間勉強する必要はないが授業に集中すべきだし、自宅で勉強できなければ授業に出席すべきである。成績と授業出席率は相関関係が成立している。